

<学校名> 川島町立つばさ南小学校
<所在地> 川島町白井沼945
<電話> 049-297-0077
<本事例の特徴>

本校では、児童に実際に活用できる外国語を身に付けさせるとともに、コミュニケーション能力を育てるために、発表会ではなく、単元の内容に応じたスピーチコンテストを行っている。本事例では、コンテストについて紹介する。

<具体的な取組や成果>

6年生の3学期に、「マイベストメモリー」の単元内容を生かしたスピーチコンテストを行っている。日頃の学習の中で、友達と伝え合ったり、集団の中で発表したりする経験はあるが、ここでは「スピーチコンテスト」として取り組むことで、より【伝えること】や【表現すること】を意識して、話したり聞いたりできるよう工夫している。

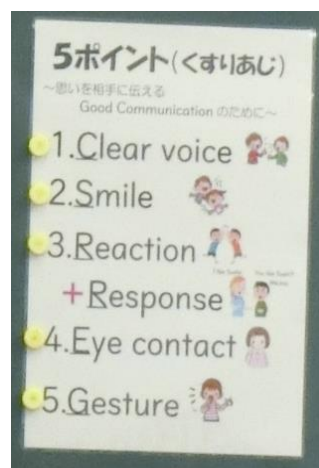


授業では、常に「思いを相手に伝える～Good Communication～」のための5つのポイントを【くすりあじ】として児童に意識させている。(年間を通して、授業中は常時掲示)

授業では、常に「思いを相手に伝える～Good Communication～」のための5つのポイントを【くすりあじ】として児童に意識させている。(年間を通して、授業中は常時掲示)

その集大成として、5つのポイントを意識したスピーチコンテストになるよう練習に取り組む。最初はSmileやGestureが固くなりがちだが、外国語専科教員やALT、外国語支援員のアドバイスを受けるうちに徐々に自信をつけ、コンテストらしい堂々とした発表ができるようになった。

コンテストということで、5つのポイントを基準に児童同士で評価する。さらに、ALTや担任も評価をし、上位5名にALT作成の賞状が授与される。参加者全員にミニ賞状が用意されているため、誰もが自分の頑張りを実感できるコンテストになっている。



本校では「スピーチコンテスト」を、小学校での学習のまとめとするだけでなく、中学校へのステップとしても位置付けている。この取組を通して、外国語でも積極的にコミュニケーションがとれる児童を育てていきたい。

【オリジナル賞状→】

